

R5 Diversity-KOJO講座(7/24実施) 参加生徒アンケート 集計結果

質問	回答番号					合計	図表
	①	②	③	④	⑤		
Q1 あなたの学年は？	1年生 145 100.0%	2年生 0 0.0%	3年生			145	
Q2 あなたの性別は？	男子 90 62.1%	女子 55 37.9%				145	
Q3 講座に参加して、科学についてどのように思うようになりましたか？	受講前から好きだったが、受講後はより好きになった 48 33.6%	受講前から好きだったが、受講後もあまり変わらない 63 44.1%	受講前から好きではなかったが、受講後は好きになった 24 16.8%	受講前から好きではなかったし、受講後もあまり変わらない 8 5.6%	受講前より嫌いになった 0 0.0%	143	
Q4 講座は面白かったですか？	面白かった 70 48.6%	どちらかといえば面白かった 51 35.4%	どちらともいえない 16 11.1%	どちらかといえば面白くなかった 3 2.1%	面白くなかった 4 2.8%	144	
Q5 講座の内容を自分なりに理解できましたか？	理解できた 60 41.4%	どちらかといえば理解できた 68 46.9%	どちらともいえない 12 8.3%	どちらかといえば理解できなかった 2 1.4%	理解できなかった 3 2.1%	145	
Q6 講座への参加で、科学に対する興味関心はどのようになりましたか？	受講前も興味・関心はあり、受講後も興味・関心が増した 58 40.0%	受講前も興味・関心はあり、受講後もあまり変わらない 57 39.3%	受講前は興味・関心はなかったが、受講後は興味・関心をもつようになった 20 13.8%	受講前は興味・関心はなく、受講後もあまり変わらない 10 6.9%	受講前よりも興味・関心はなくなった 0 0.0%	145	
Q7 講座への参加で、将来、科学に関する職業に就きたいと思われましたか？	受講前も考えており、受講後はもっと考えるようになった 37 25.7%	受講前も考えていたが、受講後もあまり変わらない 50 34.7%	受講前は考えていなかったが、受講後は考えるようになった 26 18.1%	受講前は考えていなかったが、受講後もあまり変わらない 30 20.8%	受講前よりも考えなくなった 1 0.7%	144	
Q8 社会におけるダイバーシティ(Diversity)の考えに対する理解が深まりましたか？	大変理解が深まった 40 28.0%	まあまあ理解できた 65 45.5%	どちらともいえない 28 19.6%	あまり理解できなかった 7 4.9%	まったく理解できなかった 3 2.1%	143	
Q9 今後、このような講座に、また参加したいですか？	参加したい 51 35.7%	どちらかといえば参加したい 53 37.1%	どちらともいえない 31 21.7%	どちらかといえば参加したくない 5 3.5%	参加したくない 3 2.1%	143	

Q10講座を通して学んだ事や新しく知った事を記入してください。

- ・理系に進んでも、様々な分野と結び付けて研究ができることを知った。(4)
- ・大学進学や研究職について良く知れた。(80)
- ・大学教授は単純に、講義だけをする職業だと思っていたが、自分が興味のある分野の研究ができることを知り、ずっと学生のような感じなのだったと思った。第2部の座談会では、電車や休み時間の空き時間を使って勉強にあてると良いことが分かった。
- ・様々な学問について知れた。
- ・様々な分野から、いろいろな角度で研究することができるということがわかった。(8)
- ・工学で、食品関係の研究ができること(5)
- ・化粧品の研究を行っていることも、個人的に興味深かった。
- ・レオロジーの例として挙げられた、米粉による研究について、自分なるに解釈できた。
- ・発想の転換、物事の見方を学べました。(3)
- ・レオロジーについて、粘弾性体について(22)
- ・レオロジーという学問をもっと深く知りたいと思った(4)。大学に行くのが楽しそうだったと思った。
- ・米粉パンが少ない理由を今回初めて知った。米は粘り気があるイメージを持っていたので、驚きました。
- ・アルファ化米粉について、米粉パンについて。(10)
- ・でんぷんは、すごい可能性があるなと思った。
- ・小麦粉と米粉の違いについて。(2)
- ・米粉パンを作る際には、アミロースの含有量が多いと膨らみやすいということを知った。家で、米粉パンを作っているのだから、実践したいと思った。
- ・アミロースやアミロペクチンの比率や構造によって、穀類の甘みや粘度が変わることを知った。
- ・苦手な教科だからといって、目を背けず、あえて焦点を当てること。(3)
- ・アレルギーの原因は、たんぱく質によるものということが分かった。(3)
- ・大学での研究のやりがいの大きさを知れた。
- ・将来の夢に関するものだったので、すごく耳に知識が入ってきて、聞いていて楽しかった。
- ・英語力をつけておくと役に立つ。(2)
- ・将来についてイメージしたり、好きという気持ち、努力していくことが大切だと分かった。

Q11その他、感想や意見・要望などあれば記入してください。

- ・座談会がとてもためになりました。(10)もっとやってほしい。(2)
- ・進路学習になった(4)し、大学へ進みたい！と強く思うようになった。講座の内容で専門的な話を理解するのに苦労した。これからも、勉強法や様々な講義についてお話をお伺いしてみたい。
- ・男子も座談会したかったです。(2)
- ・科学について、研究について、さらに興味を持ってました。(3)
- ・今まで知らなかった知識を詳しく知れたとても良い講義でした。
- ・米粉パンの研究は、アレルギーを持っている人の助けになる。(2)
- ・参考になりました。(3)
- ・将来の視野が広がった。(4)
- ・おもしろかったです。(6)
- ・自分の将来について考えられた。(7)
- ・興味を広げることができ、面白い講義だった。(2)
- ・私の弟が小麦アレルギーを持っていて、食生活が制限されているのですが、今日の講義で、米粉を使い様々なものを作るための研究をしていらっしゃることを知り、感動と感謝の思いでいっぱいになりました。
- ・大学教員になるには、長い道のりだと思いました。
- ・親しみやすい内容で分かりやすかった。(2)自分も何か研究してみたいと思った。
- ・座談会で、高校1年生で知れて良かったことが多くあって、今後の自分の勉強の仕方を考えるきっかけになったなと思いました。(3)
- ・質問に答えていただいて、勉強に対する不安が少なくなったので良かったです。(2)
- ・大学院の方々の話を聞いて、やっぱり勉強することは将来のためにも必要であり、効率の良いやり方で学習するべきだと思いました。(2)
- ・これからの学習の意欲向上につながった。